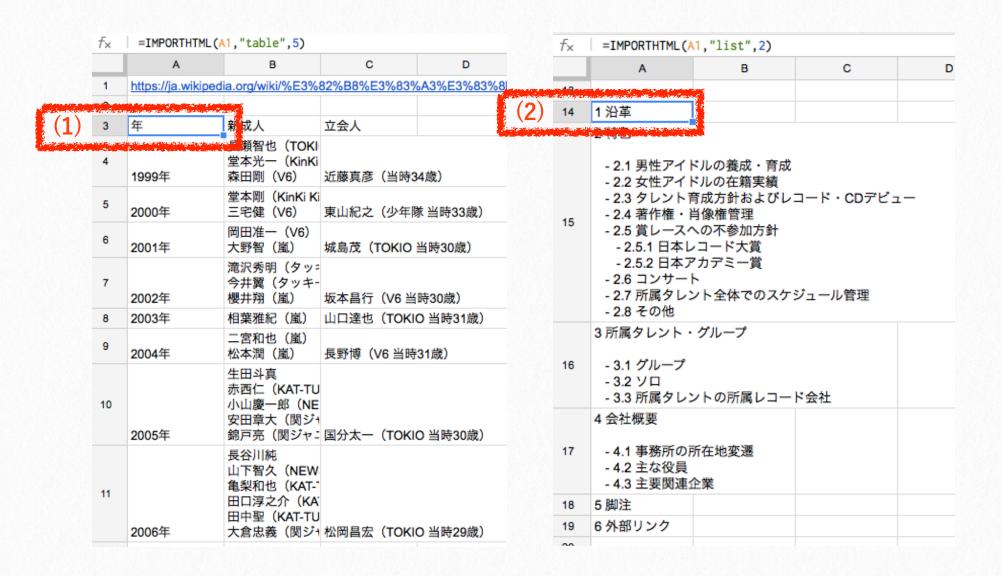
2.4 IMPORTHTML関数



IMPORTHTML関数は、ページ内の表やリストからデータをインポートします。

=IMPORTHTML(URL, クエリ, 番号)

- クエリ:目的アイテムの種類を "list" (リスト) か "table" (表) で指定
- 番号:対象について、HTML ソース内で定 義されている順番を指定

例題

ウィキペディア(https://ja.wikipedia.org/)
「<u>ジャニーズ事務所</u>」のページより、表やリストを取得してみましょう。**A1セル**にウィキペディアの該当ページのURLを入力しておきます。

(1) A3セル:表を取得

成人式と立会人に関する表を取得してみましょう。

=IMPORTHTML(A1,"table".5)

(2) A14セル: リストを取得

リストの例として、目次を取得してみましょう。 =IMPORTHTML(A1,"list",2)

参考

IMPORTHTML - ドキュメントエディタヘルプ: https://support.google.com/docs/answer/3093 339